

第181回 全経簿記検定試験 上級 一商業簿記一 模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題 1 [丸数字は予想配点、合計 22 点]

		借方科目	金額	貸方科目	金額		
問 1		利益剰余金当期首残高	100,000	売上原価	100,000	⑤	
		法人税等調整額	30,000	利益剰余金当期首残高	30,000		
		非支配株主持分当期首残高	28,000	利益剰余金当期首残高	28,000		
		非支配株主に帰属する当期純利益	28,000	非支配株主持分当期変動額	28,000		
	売上原価	150,000	商品	150,000	④		
	短期繰延税金資産	45,000	法人税等調整額	45,000			
	非支配株主持分当期変動額	42,000	非支配株主に帰属する当期純利益	42,000			
問 2	(1)	A社	買掛金	200,000	電子記録債務	200,000	③
		B社	電子記録債権	200,000	売掛金	200,000	③
	(2)	A社	仕訳なし				③
		B社	当座預金	196,000	電子記録債権	200,000	④
		電子記録債権売却損	4,000				
		保証債務費用	2,000	保証債務	2,000		

問題 2 [丸数字は予想配点、合計 78 点]

		損		益		(単位：千円)	
借方科目		金		貸方科		金	
仕入	[③ 23,910]	売上	37,200				
給料	6,380	受取配当金	960				
旅費交通費	[1,561]	有価証券運用損益	[③ 449]				
貸倒引当金繰入額*1	[③ 1,850]	有価証券利息	[③ 142]				
減価償却費*2	[601]	為替差損益	[③ 78]				
退職給付費用	[③ 1,952]		[]				
開発費償却	[③ 300]		[]				
支払地代	[288]		[]				
備品売却損	[③ 110]		[]				
法人税、住民税及び事業税	[③ 540]		[]				
繰越利益剰余金	[1,337]		[]				
	[]		[]				
	[]		[]				
合計	[38,829]	合計	[38,829]				

* 1 貸倒引当金繰入額は、本来、販売費及び一般管理費、営業外費用または特別損失に損益計算書の記載区分を分ける必要があるが、ここでは、すべての貸倒引当金繰入額をまとめて記入すること。

* 2 建物と備品の減価償却費は合計して記入すること。

		残	高	(単位：千円)	
借方科目	金	貸方科目		金	
現金	〔 ㊦ 2,363〕	支払手形	〔 2,806 〕		
受取手形	〔 5,200 〕	買掛金	〔 2,232 〕		
売掛金	〔 ㊦ 2,800〕	未払消費税	〔 ㊦ 182〕		
売買目的有価証	〔 3,100 〕	未払法人税等	〔 540 〕		
繰越商品	〔 ㊦ 5,490〕	貸倒引当金*	〔 1,960 〕		
前払支払地代	〔 ㊦ 72〕	建物減価償却累	〔 ㊦ 3,250〕		
建物	〔 10,000 〕	備品減価償却累	〔 ㊦ 1,391〕		
備品	〔 ㊦ 2,000〕	預り保証金	〔 2,000 〕		
その他有価証券	〔 2,600 〕	退職給付引当金	〔 ㊦ 1,852〕		
関連会社株式	〔 ㊦ 2,200〕	繰延税金負債	〔 ㊦ 480〕		
破産更生債権等	〔 ㊦ 3,800〕	資本金	〔 20,000 〕		
外貨建満期保有目的債券	〔 ㊦ 2,395〕	資本準備金	〔 2,000 〕		
開 発 費	〔 1,200 〕	その他資本剰余	〔 ㊦ 0〕		
	〔 〕	利益準備金	〔 820 〕		
自己株式	〔 ㊦ 500〕	任意積立金	〔 1,000 〕		
	〔 〕	繰越利益剰余金	〔 ㊦ 2,087〕		
	〔 〕	その他有価証券評価差額金	〔 ㊦ 1,120〕		
	〔 〕		〔 〕		
合 計	〔 43,720 〕	合 計	〔 43,720 〕		

* 3 貸倒引当金は、本来、設定対象となっている債権ごとに算定される必要があるが、ここでは、全ての貸倒引当金をまとめて記入すること。

* 4 勘定科目が示されている項目の金額がゼロの場合には、0を記入すること。